

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	平成医療短期大学
設置者名	学校法人誠広学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
—	看護学科	夜・通信	3	6	77	80	10	
—	リハビリテーション学科 理学療法専攻	夜・通信			77	86	10	
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	夜・通信			75	84	10	
	リハビリテーション学科 視機能療法専攻	夜・通信			63	72	10	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本学ホームページ 教育情報の公開 (6) 授業科目、授業の方法および内容並びに年間の授業の計画に関すること (シラバス) にて公表  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/</a></p>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	平成医療短期大学
設置者名	学校法人誠広学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ情報公開 事業報告にて公表 <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/financial/business_report/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/financial/business_report/</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医療法人早徳病院理事長	2019.5.31～ 2023.5.30	法人運営に関する総括機能
非常勤	岐阜リハビリテーションホーム施設長	2019.5.31～ 2023.5.30	法人運営に関するチェック機能
非常勤	平野総合病院院長	2019.5.31～ 2023.5.30	法人運営に関するチェック機能
非常勤	岐阜高等学校校長	2019.5.31～ 2023.5.30	法人運営に関するチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	平成医療短期大学
設置者名	学校法人誠広学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各授業担当教員にて授業科目ごとにシラバスを作成後、カリキュラム検討部会にて、各学科・専攻の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に基づきシラバスの記載内容の適切性をチェックしています。シラバス記載内容:授業方法(講義、演習、実習の別)、実務家教員、授業概要・学修の到達目標、事前学習・事後学習、授業計画、評価基準・評価方法、使用教科書、課題に対するフィードバックの方法等</p> <p>各学科のシラバスを冊子として作成し、4月初めのオリエンテーション時に全学生に配付すると共に、本学ホームページに記載内容を公表しています。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本学ホームページ 教育情報の公開(6) 授業科目、授業の方法および内容並びに年間の授業の計画に関すること(シラバス)にて公表  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目のシラバスに、学修の到達目標を学生目線で分かりやすく明示すると共に、成績の評価基準として何を重要視するのか、評価方法は定期試験によるのか、レポート、小テスト、その他を総合的に判断して評価するのかをあらかじめ明示しており、その評価基準・評価方法に基づき学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位授与の判定をしています。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の客観的指標として、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）を導入し、各授業科目の成績の「秀」を4、「優」を3、「良」を2、「可」を1、「不可・失格」を0として、あらかじめ設定した算出方法により換算して、全体成績を数値で表記しています。</p> <p>[GPA算出方法] *小数第三位四捨五入  {([秀] 修得単位数×4)+([優] 修得単位数×3)+([良] 修得単位数×2)+([可] 修得単位数×1)+([不可] 修得単位数×0)} ÷ {総修得単位数+ (不可・失格) 単位数}</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページ 教育情報の公開 評価基準  (5) 成績評価 GPAにて公表 <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/grade_certification/#grade">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/grade_certification/#grade</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）</p> <p>1. 全学方針</p> <p>科学と人間愛を教育の根本として、一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を修得し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成することを教育目的として、次の能力を身につけるよう教育課程を編成する。この教育課程における所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学共通の教養科目の履修を通して、社会的責任感、良好な人間関係、コミュニケーション能力、倫理観など、医療人として求められる教養を身につける。</li> <li>2. 学修を通して、専門職として求められる専門知識、技術及び実践力を修得し、地域医療福祉に貢献できる力を身につける。</li> <li>3. 学科・専攻課程の教育目的に基づく学修を通して、人間、医療福祉問題等を科学的、論理的に思考し、柔軟な発想による課題発見、解決のための知識、技術等を身につける。</li> </ol> <p>2. 看護学科</p> <p>看護学科の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、お互いの立場を尊重した人間関係を構築できる。</li> <li>2. 一般教養と看護領域の専門知識、技術及び実践力をもつ。</li> <li>3. 良識、倫理観と責任感をもち、患者、患者家族、チームを尊重し、責任をもって職務を実践できる。</li> <li>4. 向上心と探究心をもって職務を実践できる。</li> </ol>	

<p>3. リハビリテーション学科理学療法専攻</p> <p>リハビリテーション学科理学療法専攻の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、理学療法を实践する。</li> <li>2. 一般教養と理学療法領域の専門知識、技術及び実践力をもつ。</li> <li>3. 良識、倫理観と責任感をもち、患者、患者家族、チームを尊重し、責任をもって職務を实践できる。</li> <li>4. 向上心と探究心をもって職務を实践できる。</li> </ol> <p>4. リハビリテーション学科作業療法専攻</p> <p>リハビリテーション学科作業療法専攻の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、作業療法を实践する。</li> <li>2. 一般教養と作業療法領域の専門知識、技術及び実践力をもつ。</li> <li>3. 良識、倫理観と責任感をもち、患者、患者家族、チームを尊重し、責任をもって職務を实践できる。</li> <li>4. 向上心と探究心をもって職務を实践できる。</li> </ol> <p>5. リハビリテーション学科視機能療法専攻</p> <p>リハビリテーション学科視機能療法専攻の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、視機能療法を实践する。</li> <li>2. 一般教養と視機能療法領域の専門知識、技術及び実践力をもつ。</li> <li>3. 良識、倫理観と責任感をもち、患者、患者家族、チームを尊重し、責任をもって職務を实践できる。</li> <li>4. 向上心と探究心をもって職務を实践できる。</li> </ol> <p>上記の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、本学に3年以上在学し、看護学科 99 単位以上、リハビリテーション学科理学療法専攻 99 単位以上、リハビリテーション学科作業療法専攻 98 単位以上、リハビリテーション学科視機能療法専攻 98 単位以上修得した学生に、卒業を認定しています。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>本学ホームページ 大学紹介（ディプロマ・ポリシー）にて公表</p> <p><a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/diploma_policy/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/diploma_policy/</a></p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	平成医療短期大学
設置者名	学校法人誠広学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページにて公表 <a href="https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/financial/balance_sheet/">https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/financial/balance_sheet/</a>
収支計算書又は損益計算書	本学ホームページにて公表 <a href="https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/financial/fund/">https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/financial/fund/</a>
財産目録	本学ホームページにて公表 <a href="https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/financial/financial_list/">https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/financial/financial_list/</a>
事業報告書	本学ホームページにて公表 <a href="https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/financial/business_report/">https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/financial/business_report/</a>
監事による監査報告(書)	本学ホームページにて公表 <a href="https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/financial/audit_report/">https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/financial/audit_report/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページにて公表 <a href="https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/">https://www.heisei-iryoku.ac.jp/info_disclosure/</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
-------

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学科
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/purpose/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/purpose/</a> ）
（概要） 全学の目的 建学の精神を理念として、豊かな一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を深く教授し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成する。  看護学科 深い人間愛をもち、高い倫理観の上に、高度化、多様化する医療・福祉に相応し得る次の知識・技術及び実践力をもつ看護師を養成する。 1. 一般教養と看護領域の専門知識、技術及び実践力を養う。 2. 高度化、多様化する医療環境の変化等に主体的に対応できる実践力を養う。 3. 生命の尊重と人間愛に基づく行動とチームと協働する良好な人間関係を築ける能力を養う。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/diploma_policy/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/diploma_policy/</a> ）
（概要） 全学方針 科学と人間愛を教育の根本として、一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を修得し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成することを教育目的として、次の能力を身につけるよう教育課程を編成する。この教育課程における所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。 1. 全学共通の教養科目の履修を通して、社会的責任感、良好な人間関係、コミュニケーション能力、倫理観など、医療人として求められる教養を身につける。 2. 学修を通して、専門職として求められる専門知識、技術及び実践力を修得し、地域医療福祉に貢献できる力を身につける。 3. 学科・専攻課程の教育目的に基づく学修を通して、人間、医療福祉問題等を科学的、論理的に思考し、柔軟な発想による課題発見、解決のための知識、技術等を身につける。  看護学科 看護学科の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。 1. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、お互いの立場を尊重した人間関係を構築できる。 2. 一般教養と看護領域の専門知識、技術及び実践力をもつ。 3. 良識、倫理観と責任感をもち、患者、患者家族、チームを尊重し、責任をもって職務を実践できる。 4. 向上心と探究心をもって職務を実践できる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/curriculum_policy/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/curriculum_policy/</a> ）

<p>(概要)</p> <p>全学方針</p> <p>人間愛と社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を修得し、医療技術者としての専門知識、実践力及び課題解決能力を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を身につけるため、全学に総合教育科目を配置する。</li> <li>2. 専門教育科目は、専門職の基礎知識である人体、疾病などの専門基礎を学び、それぞれの学科・専攻課程ごとに、次のとおり専門知識・技術及び実践力を修得する科目を配置する。</li> </ol> <p>看護学科 専門教育科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護の基礎知識と能力を修得するため、人体の理解、疾病及び社会構造などの科目を配置する。</li> <li>2. 看護の領域の系統別に科目を配置し、それぞれの専門知識・技術を発展的に高めるようにする。</li> <li>3. 看護の領域ごとに、知識応用力、専門職コミュニケーション能力を修得し、実践能力を高める実習科目を年次段階的に配置する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/schoolguide/admission_policy/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/schoolguide/admission_policy/</a> ）</p>
<p>(概要)</p> <p>全学共通</p> <p>本学は「誠意と親切と広い心」を理念として、科学と人間愛に基づき、地域医療福祉等に貢献できる医療人を育成し、社会に貢献します。そして、本学を学びの場として優れた人材が育っていくことを願っています。よって、次のような能力と意欲を持つ学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教養と専門知識・技術及び実践力を修得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人</li> <li>(2) 常に真心を持って人に尽くす意欲と情熱を持ち、協調性と柔軟性のある人</li> <li>(3) 医療や健康に関わる科学に強い興味を持ち、主体的に学ぶ姿勢を持つ人</li> </ol> <p>看護学科</p> <p>全学共通のアドミッションポリシーに加え、看護学領域に関わる科学を学ぶ意志が強く地域医療福祉に貢献する意欲の高い人</p>

<p>学部等名 リハビリテーション学科理学療法専攻</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/purpose/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/purpose/</a> ）</p>
<p>(概要)</p> <p>全学の目的</p> <p>建学の精神を理念として、豊かな一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を深く教授し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成する。</p> <p>リハビリテーション学科理学療法専攻</p> <p>深い人間愛をもち、高い倫理観の上に、高度化、多様化する医療・福祉に相応し得る次の知識・技術及び実践力をもつ理学療法士を養成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般教養と理学療法領域の専門知識、技術及び実践力を養う。</li> <li>2. 高度化、多様化する医療環境の変化等に主体的に対応できる実践力を養う。</li> <li>3. 生命の尊重と人間愛に基づく行動とチームと協働する良好な人間関係を築ける能力を養う。</li> </ol>



<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/diploma_policy/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/diploma_policy/</a> ）</p> <p>（概要）</p> <p>全学方針</p> <p>科学と人間愛を教育の根本として、一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を修得し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成することを教育目的として、次の能力を身につけるよう教育課程を編成する。この教育課程における所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学共通の教養科目の履修を通して、社会的責任感、良好な人間関係、コミュニケーション能力、倫理観など、医療人として求められる教養を身につける。</li> <li>2. 学修を通して、専門職として求められる専門知識、技術及び実践力を修得し、地域医療福祉に貢献できる力を身につける。</li> <li>3. 学科・専攻課程の教育目的に基づく学修を通して、人間、医療福祉問題等を科学的、論理的に思考し、柔軟な発想による課題発見、解決のための知識、技術等を身につける。</li> </ol> <p>リハビリテーション学科理学療法専攻</p> <p>リハビリテーション学科理学療法専攻の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、理学療法を実践する。</li> <li>2. 一般教養と理学療法領域の専門知識、技術及び実践力をもつ。</li> <li>3. 良識、倫理観と責任感をもち、患者、患者家族、チームを尊重し、責任をもって職務を実践できる。</li> <li>4. 向上心と探究心をもって職務を実践できる。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/curriculum_policy/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/curriculum_policy/</a> ）</p> <p>（概要）</p> <p>全学方針</p> <p>人間愛と社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を修得し、医療技術者としての専門知識、実践力及び課題解決能力を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を身につけるため、全学に総合教育科目を配置する。</li> <li>2. 専門教育科目は、専門職の基礎知識である人体、疾病などの専門基礎を学び、それぞれの学科・専攻課程ごとに、次のとおり専門知識・技術及び実践力を修得する科目を配置する。</li> </ol> <p>リハビリテーション学科理学療法専攻 専門教育科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理学療法の基礎知識と能力を修得するため、人体の理解、疾病及び社会構造などの科目を配置する。</li> <li>2. 理学療法の領域の系統別に科目を配置し、それぞれの専門知識・技術を発展的に高めるようにする。</li> <li>3. 理学療法の領域ごとに、知識応用力、専門職コミュニケーション能力を修得し、実践能力を高める実習科目を年次段階的に配置する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/schoolguide/admission_policy/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/schoolguide/admission_policy/</a> ）</p>

(概要)

全学共通

本学は「誠意と親切と広い心」を理念として、科学と人間愛に基づき、地域医療福祉等に貢献できる医療人を育成し、社会に貢献します。そして、本学を学びの場として優れた人材が育っていくことを願っています。よって、次のような能力と意欲を持つ学生を求めています。

- (1) 教養と専門知識・技術及び実践力を修得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人
- (2) 常に真心を持って人に尽くす意欲と情熱を持ち、協調性と柔軟性のある人
- (3) 医療や健康に関わる科学に強い興味を持ち、主体的に学ぶ姿勢を持つ人

リハビリテーション学科理学療法専攻

全学共通のアドミッションポリシーに加え、理学療法学領域に関わる科学を学ぶ意志が強く地域医療福祉に貢献する意欲の高い人

学部等名 リハビリテーション学科作業療法専攻

教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ

<https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/purpose/> )

(概要)

全学の目的

建学の精神を理念として、豊かな一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を深く教授し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成する。

リハビリテーション学科作業療法専攻の目的

深い人間愛をもち、高い倫理観の上に、高度化、多様化する医療・福祉に相応し得る次の知識・技術及び実践力をもち作業療法士を養成する。

1. 一般教養と作業療法領域の専門知識、技術及び実践力を養う。
2. 高度化、多様化する医療環境の変化等に主体的に対応できる実践力を養う。
3. 生命の尊重と人間愛に基づく行動とチームと協働する良好な人間関係を築ける能力を養う。

卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ

[https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/diploma\\_policy/](https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/diploma_policy/) )

(概要)

全学方針

科学と人間愛を教育の根本として、一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を修得し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成することを教育目的として、次の能力を身につけるよう教育課程を編成する。この教育課程における所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。

1. 全学共通の教養科目の履修を通して、社会的責任感、良好な人間関係、コミュニケーション能力、倫理観など、医療人として求められる教養を身につける。
2. 学修を通して、専門職として求められる専門知識、技術及び実践力を修得し、地域医療福祉に貢献できる力を身につける。
3. 学科・専攻課程の教育目的に基づく学修を通して、人間、医療福祉問題等を科学的、論理的に思考し、柔軟な発想による課題発見、解決のための知識、技術等を身につける。

リハビリテーション学科作業療法専攻

リハビリテーション学科作業療法専攻の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、作業療法を実践する。
2. 一般教養と作業療法領域の専門知識、技術及び実践力をもつ。
3. 良識、倫理観と責任感をもち、患者、患者家族、チームを尊重し、責任をもって職務を実践できる。
4. 向上心と探究心をもって職務を実践できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ

[https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/curriculum\\_policy/](https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/curriculum_policy/)）

（概要）

全学方針

人間愛と社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を修得し、医療技術者としての専門知識、実践力及び課題解決能力を身につける。

1. 社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を身につけるため、全学に総合教育科目を配置する。
2. 専門教育科目は、専門職の基礎知識である人体、疾病などの専門基礎を学び、それぞれの学科・専攻課程ごとに、次のとおり専門知識・技術及び実践力を修得する科目を配置する。

リハビリテーション学科作業療法専攻 専門教育科目

1. 作業療法の基礎知識と能力を修得するため、人体の理解、疾病及び社会構造などの科目を配置する。
2. 作業療法の領域の系統別に科目を配置し、それぞれの専門知識・技術を発展的に高めるようにする。
3. 作業療法の領域ごとに、知識応用力、専門職コミュニケーション能力を修得し、実践能力を高める実習科目を年次段階的に配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ

[https://www.heisei-iryuu.ac.jp/schoolguide/admission\\_policy/](https://www.heisei-iryuu.ac.jp/schoolguide/admission_policy/)）

（概要）

全学共通

本学は「誠意と親切と広い心」を理念として、科学と人間愛に基づき、地域医療福祉等に貢献できる医療人を育成し、社会に貢献します。そして、本学を学びの場として優れた人材が育っていくことを願っています。よって、次のような能力と意欲を持つ学生を求めています。

- (1) 教養と専門知識・技術及び実践力を修得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人
- (2) 常に真心を持って人に尽くす意欲と情熱を持ち、協調性と柔軟性のある人
- (3) 医療や健康に関わる科学に強い興味を持ち、主体的に学ぶ姿勢を持つ人

リハビリテーション学科作業療法専攻

全学共通のアドミッションポリシーに加え、作業療法学領域に関わる科学を学ぶ意志が強く地域医療福祉に貢献する意欲の高い人

<p>学部等名 リハビリテーション学科視機能療法専攻</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/purpose/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/purpose/</a> ）</p>
<p>（概要）</p> <p>全学の目的</p> <p>建学の精神を理念として、豊かな一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を深く教授し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成する。</p> <p>リハビリテーション学科視機能療法専攻の目的</p> <p>深い人間愛をもち、高い倫理観の上に、高度化、多様化する医療・福祉に相応し得る次の知識・技術及び実践力をもつ視能訓練士を養成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般教養と視機能療法領域の専門知識、技術及び実践力を養う。</li> <li>2. 高度化、多様化する医療環境の変化等に主体的に対応できる実践力を養う。</li> <li>3. 生命の尊重と人間愛に基づく行動とチームと協働する良好な人間関係を築ける能力を養う。</li> </ol>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/diploma_policy/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/diploma_policy/</a> ）</p>
<p>（概要）</p> <p>全学方針</p> <p>科学と人間愛を教育の根本として、一般教養の上に専門分野の実践的な学問及び技術を修得し、地域社会等に貢献し得る優秀な人材を養成することを教育目的として、次の能力を身につけるよう教育課程を編成する。この教育課程における所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認定し学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学共通の教養科目の履修を通して、社会的責任感、良好な人間関係、コミュニケーション能力、倫理観など、医療人として求められる教養を身につける。</li> <li>2. 学修を通して、専門職として求められる専門知識、技術及び実践力を修得し、地域医療福祉に貢献できる力を身につける。</li> <li>3. 学科・専攻課程の教育目的に基づく学修を通して、人間、医療福祉問題等を科学的、論理的に思考し、柔軟な発想による課題発見、解決のための知識、技術等を身につける。</li> </ol> <p>リハビリテーション学科視機能療法専攻</p> <p>リハビリテーション学科視機能療法専攻の教育目的に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位を修め、次の能力等を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性とコミュニケーション能力を身につけ、お互いの立場を尊重した人間関係を構築して、視機能療法を実践する。</li> <li>2. 一般教養と視機能療法領域の専門知識、技術及び実践力をもつ。</li> <li>3. 良識、倫理観と責任感をもち、患者、患者家族、チームを尊重し、責任をもって職務を実践できる。</li> <li>4. 向上心と探究心をもって職務を実践できる。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/curriculum_policy/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/campus/curriculum_policy/</a> ）</p>
<p>（概要）</p> <p>全学方針</p> <p>人間愛と社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を修得し、医療技術者としての専門知識、実践力及び課題解決能力を身につける。</p>

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会生活に求められる教養、倫理、責任感及びコミュニケーション能力を身につけるため、全学に総合教育科目を配置する。</li> <li>2. 専門教育科目は、専門職の基礎知識である人体、疾病などの専門基礎を学び、それぞれの学科・専攻課程ごとに、次のとおり専門知識・技術及び実践力を修得する科目を配置する。</li> </ol> <p>リハビリテーション学科視機能療法専攻 専門教育科目</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 視機能療法の基礎知識と能力を修得するため、人体の理解、疾病及び社会構造などの科目を配置する。</li> <li>2. 視機能療法の領域の系統別に科目を配置し、それぞれの専門知識・技術を発展的に高めるように配置する。</li> <li>3. 視機能療法の領域ごとに、知識応用力、専門職コミュニケーション能力を修得し、実践能力を高める実習科目を年次段階的に配置する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/schoolguide/admission_policy/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/schoolguide/admission_policy/</a>）</p>
<p>（概要）</p> <p>全学共通</p> <p>本学は「誠意と親切と広い心」を理念として、科学と人間愛に基づき、地域医療福祉等に貢献できる医療人を育成し、社会に貢献します。そして、本学を学びの場として優れた人材が育っていくことを願っています。よって、次のような能力と意欲を持つ学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教養と専門知識・技術及び実践力を修得するために必要な基礎学力とコミュニケーション能力を持つ人</li> <li>(2) 常に真心を持って人に尽くす意欲と情熱を持ち、協調性と柔軟性のある人</li> <li>(3) 医療や健康に関わる科学に強い興味を持ち、主体的に学ぶ姿勢を持つ人</li> </ol> <p>リハビリテーション学科視機能療法専攻</p> <p>全学共通のアドミッションポリシーに加え、視機能療法学領域に関わる科学を学ぶ意志が強く地域医療福祉に貢献する意欲の高い人</p>

## ②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学ホームページ 教育情報の公開 (3) 教育研究上の基本組織に関すること（学科一覧・課程の名称）にて公表  <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/</a></p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
看護学科	—	4人	2人	4人	6人	2人	18人
リハビリテーション学科 理学療法専攻	—	7人	4人	0人	1人	0人	12人
リハビリテーション学科 作業療法専攻	—	3人	2人	0人	2人	0人	7人
リハビリテーション学科 視機能療法専攻	—	2人	2人	1人	1人	1人	7人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			133人				133人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学ホームページ <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/research/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/research/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FD活動の概要							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業評価アンケートによる授業改善</li> <li>・教育方法の改善研修</li> <li>・研究外部資金活用研修</li> <li>・成績評価についての研修 等</li> </ul>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学科	80人	94人	117.5%	240人	220人	91.7%	0人	0人
リハビリテーション学 理学療法専攻	80人	70人	87.5%	240人	187人	77.9%	0人	0人
リハビリテーション学 作業療法専攻	40人	35人	75.0%	120人	103人	85.8%	0人	0人
リハビリテーション学 視機能療法専攻	40人	49人	122.5%	120人	107人	89.2%	0人	0人
合計	240人	248人	103.3%	720人	617人	85.7%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学科	75人 (100.0%)	1人 (1.3%)	72人 (96.0%)	2人 (2.7%)
リハビリテーション学 理学療法専攻	66人 (100.0%)	0人 (0.0%)	63人 (95.5%)	3人 (4.5%)
リハビリテーション学科 作業療法専攻	41人 (100.0%)	0人 (0.0%)	41人 (100.0%)	0人 (0.0%)
リハビリテーション学科 視機能療法専攻	32人 (100.0%)	0人 (0.0%)	31人 (96.9%)	1人 (3.1%)
合計	214人 (100.0%)	1人 (0.5%)	207人 (96.7%)	6人 (2.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
看護学科： 平野総合病院、岐阜県総合医療センター、岐阜大学医学部附属病院、 長良医療センター、岐阜市民病院、羽島市民病院、大垣市民病院、 岐阜清流病院、松波総合病院、各務原リハビリテーション病院、 木沢記念病院、一宮西病院、江南厚生病院 他				
リハビリテーション学科：大垣市民病院、中濃厚生病院、大垣徳洲会病院、木沢記念病院、 近石病院、山内ホスピタル、山田病院、各務原リハビリテーション病院、 岐阜清流病院、松波総合病院、関中央病院、愛知医科大学病院、 名古屋大学医学部附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院、 刈谷豊田総合病院 大雄会第一病院 福井県済生会病院 他				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

各授業担当教員にて授業科目ごとに授業計画（シラバス）を作成しています。シラバスの記載内容は、授業科目名、担当教員、必修・選択の別、配当年次、単位数（時間数）、授業方法（講義、演習、実習の別）、実務家教員、授業概要・学修の到達目標、事前学習・事後学習、授業計画、評価基準・評価方法、使用教科書、参考図書等。

学修の到達目標を学生目線で分かりやすく明示すると共に、成績の評価基準として何を重要視するのか、評価方法は定期試験によるのか、レポート、小テスト、その他を総合的に判断して評価するのかをあらかじめ明示し、その評価基準・評価方法に基づき学修成果を厳格かつ適正に評価し、単位授与の判定をしています。

各学科のシラバスを冊子として作成し、4月初めのオリエンテーション時に全学生に配付すると共に、本学ホームページに記載内容を公表しています。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

成績は、本人に秀、優、良、可、不可の標語をもって通知します。

成績評価が合格の者に対して、所定の単位を与えます。各試験の評価は、次のとおりです。

評価	前学期、後学期及びレポート試験等	追試験	再試験
秀	100点～90点	100点～90点	なし
優	89点～80点	89点～80点	なし
良	79点～70点	100点～70点	なし
可	69点～60点	69点～60点	100点～60点
不可	60点未満	60点未満	60点未満

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、本学に3年以上在学し、看護学科 99 単位以上、リハビリテーション学科理学療法専攻 114 単位以上、リハビリテーション学科作業療法専攻 111 単位以上、リハビリテーション学科視機能療法専攻 98 単位以上を修得した学生に、卒業を認定しています。

（平成 31 年度以前入学者については、本学に 3 年以上在学し、看護学科 99 単位以上、リハビリテーション学科理学療法専攻 114 単位以上、リハビリテーション学科作業療法専攻 111 単位以上、リハビリテーション学科視機能療法専攻 98 単位以上を修得した学生に、卒業を認定しています。）



学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
—	看護学科	99単位	有・無	55単位
—	リハビリテーション学科 理学療法専攻	114単位	有・無	55単位
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	111単位	有・無	55単位
	リハビリテーション学科 視機能療法専攻	98単位	有・無	55単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：本学ホームページ 教育情報の公開 評価基準 (5) 成績評価 (GPA) にて公表 <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/grade_certification/#grade">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/grade_certification/#grade</a>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：本学ホームページ 教育情報の公開 IR活動にて、全学生対象に実施した令和元年度学修等アンケート集計結果を公表 <a href="https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/">https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/</a>		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ 教育情報の公開 (8) 校地、校舎等の施設および設備その他の学生の教育研究環境に関すること (キャンパス概要) にて公表  
[https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info\\_disclosure/education/](https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他		備考 (任意 記載事項)
				実習費(年間)	教育充実費(年間)	
—	看護学科	700,000円	200,000円	1年次 100,000円	200,000円	
				2年次 250,000円		
				3年次 350,000円		
—	リハビリテーション学科 理学療法専攻	700,000円	200,000円	1年次 100,000円	200,000円	
				2年次 250,000円		
				3年次 350,000円		
—	リハビリテーション学科 作業療法専攻	700,000円	200,000円	1年次 100,000円	200,000円	
				2年次 250,000円		
				3年次 350,000円		
—	リハビリテーション学科 視機能療法専攻	700,000円	200,000円	1年次 100,000円	200,000円	
				2年次 250,000円		
				3年次 350,000円		

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>■学納金減免制度 本学に在籍する学生及び入学予定者で、国の「高等教育の修学支援新制度」の支援基準に満たない者を対象として学納金減免規程を整備し、修学に熱意があるにもかかわらず、経済的理由により学納金納入が著しく困難になった学生を支援しています。</p> <p>■奨学金制度 本学独自の下記の奨学生制度を設けています。 &lt;平成医療短期大学奨学生&gt; ・特待奨学生制度（各学科若干名） 一般入学試験合格者で、本学特待奨学生に応募した者のうち、成績が優秀で地域医療・福祉に貢献できると本学が認める者について、1年次の授業料前期納付額を免除。 ・在学奨学生制度（各学年若干名） 本学在籍学生で、学業、人物ともに極めて優秀と判断された者について、次年次の授業料前期納付額を免除。 &lt;AO入試特別奨学金&gt; AO入試合格者で、翌年3月に高等学校を卒業見込みの者のうち、エントリー時よりも高等学校卒業時の調査書（3月1日以降のもの）の成績がより良好であった者に奨学金を支給。※支給額 100,000円（ただし、AO入試エントリー時と高等学校卒業時の調査書が提出できる者）</p> <p>■学生レジデンス 遠隔地出身の学生を対象に、エアコン、冷蔵庫、洗濯機を配備した学生レジデンスを10室程度貸し出しています。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>学生委員会を中心に、次の取り組みを行っています。 &lt;就職講座&gt; 履歴書の書き方、小論文指導、面接指導等 &lt;公務員試験講座&gt; 筆記試験対策、小論文指導、面接指導等</p> <p>個別支援としては、チューターや担任教員が面談により進路の希望を把握し、学生委員会の教職員と連携を取りながら就職支援にあたっています。 求人票や就職活動情報に関する資料は、図書館や教員の研究室にて閲覧可能となっています。また、学校指定の履歴書を作成し、配付しています。</p> <p>進学希望の学生には、チューターや担任教員、その専門分野の教員を中心に進学希望の学生に対して相談に応じています。進学に関する資料は、図書館や教員の研究室にて閲覧可能となっています。</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>&lt;学生支援のための施設&gt; 学内に保健室と学生支援室を設置しています。 学生支援室では、学生からの様々な相談（学業、進路、人間関係、経済状況、身体的・心理的問題等）に学内相談員が対応するほか、専用の電話とメールでも随時相談可能となっています。</p>

また、学内での対応が困難と判断される場合には、医師や臨床心理士など外部の専門家による問題解決に向けたシステムをとっています。

<修学に関する支援>

教員一人当たり少人数の学生を担当するチューター制（看護学科）や担任制（リハビリテーション学科）、オフィスアワーの実施などにより、学生の個別指導や相談を行える体制を整えています。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページにて公表

教育情報の公開 ([https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info\\_disclosure/education/](https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/education/))

研究活動 ([https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info\\_disclosure/research/](https://www.heisei-iryuu.ac.jp/info_disclosure/research/))

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	学校法人誠広学園
設置者名	平成医療短期大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		－ 人	－ 人	－ 人
内 訳	第Ⅰ区分	－ 人	－ 人	
	第Ⅱ区分	0人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				－ 人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	— 人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0 人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	— 人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0 人	人	人
計	— 人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0 人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0 人
3月以上の停学	0 人
年間計	0 人

(備考)
------

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。